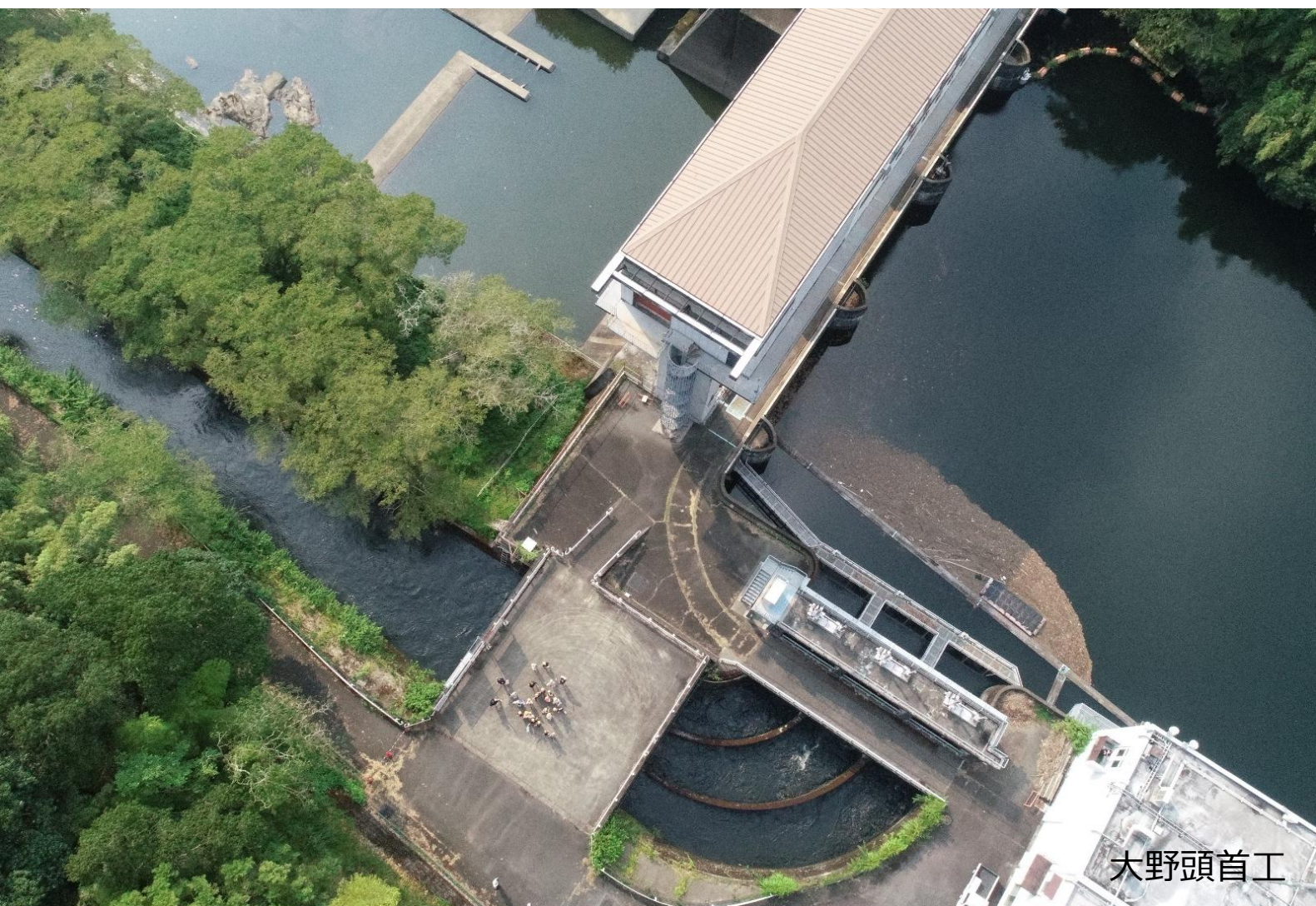


令和7年度 「豊川用水上下流交流事業」を実施しました



大野頭首工

8月1日は「水の日」で、8月1日から8月7日は「水の週間」です。当土地改良区では、毎年、この時期にあわせて、(公財)愛知・豊川用水振興協会と共催で、(独)水資源機構や東三河水道事務所のご協力のもと、上下流交流事業を実施しています。

この事業は、豊川用水の水源地や上流域、下流地域の児童及び保護者、教員の方々を対象に、普段生活している場所とは違う施設等を見学してもらい、農業における水の有効利用について学習することを目的としています。第9回目となる今年は、令和7年8月4日(月)に実施し、下流地域にある豊橋市立豊南小学校の児童等24名にご参加いただき、新城市の大島ダム・大野頭首工などに行きました。

また、今回は「設楽町川向しだれ桃の里親事業」(愛知県豊川水系対策本部)の一環として、設楽ダム建設に伴い閉区になった設楽町川向地区の「しだれ桃」の鉢植えが同校に授与されました。

大島ダム



監査廊の中は約 10℃。
堤体の下に着く頃には寒くなってきます。



設楽町川向地区の「しだれ桃」の苗木は、今回の児童が成人する頃まで豊南小学校で大切に育てられます。

寒狭川広見や十



大野頭首工

